

研修プログラム

研修目的	災害支援ナース養成研修は、災害支援看護業務（※1）及び新興感染症支援看護業務（※2）に関する知識及び技能を習得することを目的とする。 ※1 災害支援看護業務とは、被災地の医療機関等に派遣されて実施する看護業務、救護所での診療及び避難所での巡回診療における看護業務、避難所の環境整備及び公衆衛生管理、被災者の心のケア等をいう。 ※2 新興感染症支援看護業務とは、新興感染症が集中的に発生した医療機関や新興感染症の感染拡大地域に所在する医療機関等に派遣されて実施する看護業務をいう。
研修時間	講義（オンデマンド）：総論 120 分/各論 （災害） 540 分＋（感染症） 540 分 演習（集合研修）：講義 60 分/各論（災害） 270 分＋（感染症） 270 分

講義（オンデマンド）【2023 年度制作】

※収録時点の講師の所属・職位を記載しています。

章	単元／主な内容	講師(所属等) ※敬称略	時間
1	【総論】 災害・感染症に係る派遣の対応	鎌田 久美子 (公益社団法人日本看護協会)	120 分
2	【災害各論】 災害医療の基礎知識 ・災害とは、 ・わが国の災害医療体制	小井土 雄一 (独立行政法人国立病院機構 本部 DMAT 事務局)	180 分
3	災害時に求められる看護支援活動 ・災害看護とは ・災害時保健医療福祉活動における看護 ・災害の場に応じた看護支援活動 ・災害時要配慮者の特徴と看護	石井 美恵子 (国際医療福祉大学大学院)	150 分
4	災害時の感染対策 ・災害時に注意すべき感染症とその要因 ・避難所における感染症のリスクアセスメントの考え方 ・避難所における感染症対策例（複合災害時の対応等を含む）	山本 由紀子 (地方独立行政法人市立秋田総合病院感染管理認定看護師)	60 分

5	災害時の心理的変化とこころのケア ・被災者に生じやすい心理的問題 ・被災者に接する際の基本的留意点 ・わが国の災害精神保健医療体制 (DPAT 含む) ・支援者の惨事ストレスとケア (事例含む)	河嶋 譲 (独立行政法人国立病院機構本部 DMAT 事務局)	90 分
6	災害時の看護職の活動事例 ・派遣された看護職の活動事例 ・活動場所で直面する様々な状況	岡崎 敦子 (独立行政法人国立病院機構災害医療センター災害看護専門看護師)	60 分
ー	災害 確認テスト	10 問	
7	【各論 (感染症)】 新型コロナなど新興感染症の基礎知識 ・新興感染症/パンデミック ・新興感染症等の感染拡大時における医療提供体制の確保	大曲 貴夫 (国立国際医療研究センター国際感染症センター長・感染症内科医長)	60 分
8	新型コロナなど新興感染症の基礎知識 1) 感染拡大・重症化を防ぐ技術の提供に必要な知識・手指衛生・PPE (個人防護具) の種類や着脱等・ゾーニング・環境整備・廃棄物・寝具・食器の取り扱い・死亡時の対応など 2) 院内感染発生時の初期対応・クラスター発生予防の対策	美島 路恵 (東京慈恵会医科大学付属病院・感染対策部感染管理認定看護師)	60 分
9	新型コロナなど新興感染症患者の治療と観察ポイント (軽～中等症)	小倉 高志 (神奈川県立循環器呼吸器病センター所長)	60 分
10	新型コロナなど新興感染症患者の看護 (軽～中等症) ① (医療機関と在宅・宿泊療養を含める) 1) 重症化予防のための患者評価と対応・緊急性の判断と急変対応・重症化予防・異常の早期発見・患者家族への精神的ケア・医療機関と在宅・宿泊療養での対応の特徴	杉本 環 (日本看護協会認定看護師教育課程 救急看護認定看護師)	60 分
	2) 重症化予防のための患者評価と対応 (軽～中等症) ② (医療機関と在宅・宿泊療養を含	富阪 幸子 (日本看護協会認定看護師教育	60 分

	める) ・酸素療法 ・呼吸理学療法 ・体力の消耗を最小限にするための患者への生活指導	課程クリティカルケア 認定看護師)	
11	新型コロナなど新興感染症患者の集中治療管理 (重症)	則末 泰博 (東京ベイ・浦安市川医療センター救急集中治療科・集中治療部門部長・呼吸器内科部長)	60 分
12	新型コロナなど新興感染症患者の看護 (重症) 1)生命維持装置の管理 ・ネーザルハイフロー、人工呼吸器、ECMO、CHDF (* 1) 等	三木 隆弘 (日本大学病院)	60 分
	2)人工呼吸器管理、ECMO 管理における看護	濱本 実也 (公立陶生病院・集中ケア認定看護師)	60 分
	3)重症患者家族への精神的なケア・隔離による不安、意思決定支援、看取り等	立野 淳子 (小倉記念病院看護部クオリティマネジメント科科长 急性・重症患者看護専門看護師)	60 分
—	感染症確認テスト	10 問	

* 1 : 体外式模型人工肺 (ECMO)、持続緩徐式血液濾過透析(CHDF)

演習 (集合研修) 2025 年 10 月 10 日 (金)

	単元／主な内容	講師(所属等) ※敬称略
9:30~10:20 (50 分)	【講義】 佐賀県における災害・新興感染症に係る派遣時の看護支援活動	佐賀県健康福祉部医務課 西 恵子
10:20~10:30 (10 分)	災害支援ナースとしての心構え (支援側・受援側の立場の理解)	佐賀県看護協会 安武里美
10:30~12:15 (105 分)	【演習 (災害)】 災害時の看護職の活動の実際 1) 派遣決定から出発までの準備 ワーク: 派遣決定までの調整と準備、派遣決定から出発までの準備、携行品、活動の原則 2) 支援者としての心構え	佐賀県看護協会 災害看護委員会 委員

	3) 活動場所の違いによる活動の特徴（医療機関、避難所）	佐賀県看護協会 災害看護委員会 委員
13:15～13:55 (40 分)	4) 災害医療対応の原則 ワーク：安全管理	
13:55～15:55 (120 分)	5) 方針に沿った活動 ワーク：救急搬送や発熱者等の対応、新たな活動を依頼されたら、記録と報告、活動終了に向けて、帰還後に行うこと	
15:55～16:00 (5 分)	まとめ	

演習（集合研修） 2025 年 10 月 24 日（金）

時間	単元／主な内容	講師等
9:30～11:30 (120 分)	【演習（感染症）】 感染拡大時の看護職の活動の実際 1) 感染拡大・重症化の予防 ①ゾーニングを体験し、ゾーニングの考え方の基本や留意点を学ぶ ・ゾーニングを実施する・ゾーニングの考え方や留意点を学ぶ②個人防護具の着脱を体験し、標準予防策の基礎を学ぶ ・個人防護具の着衣が正しく行える・医療機関以外の場所が想定できる	<感染管理認定 看護師>
11:30～12:30 (60 分)	2) 安楽な呼吸を保つための看護 ・ 個人防護具を装着したままで安楽な呼吸へのケアを経験する・個人防護具の脱衣が正しく行える ・ 個人防護具を装着したままでケアを実践する・個人防護具の脱衣が正しく行える	<クリティカル ケア認定看護師 >
13:30～14:10 (40 分)	3) 多職種連携による医療提供 派遣時の心構えや派遣先での適切な行動を学ぶ ・派遣時の活動の原則、派遣先での指揮命令系統の確認、医療機関以外での他職種連携の留意点を学ぶ	<感染管理認定 看護師>
14:10～14:50 (40 分)	4) 患者・家族へのケア（看取り・死亡時のケア含む）派遣の事例を通して、隔離による不安、意思決定支援、看取りケア、死亡時の対応を学ぶ。未知の感染症に罹患したご遺体への対応を学ぶ	<感染管理認定 看護師>
14:50～15:00 (10 分)	まとめ	

